

第 87 回日本マイコトキシン学会学術講演会では、学生会員の優れた口頭発表に対してベストプレゼンテーション賞を授与しました。12名の学生の発表を11名の審査員が（1）スライドの適切さ（見易さ、理解し易さ）、（2）発表の分かり易さ、（3）質疑応答の適切さ、の3項目について5段階で絶対評価しています。以下の3名の方が受賞されました。

0-03 平山美咲（千葉大学真菌医学研究センター）

「ライ麦から分離されたフザリウム属真菌が生産する新興カビ毒の同定及び分析法の開発」

0-07 佐藤梨奈（東京理科大学大学院理工学研究科）

「糸状菌 *Acremonium* sp. TUS-MM1 株のパツリン分解に寄与する成分の解析」

0-10 近藤虎太郎（星薬科大学薬学部）

「*Commelinaceomyces anilematis* が産生する細胞傷害性物質の探索」